公益社団法人 中間市シルバー人材センター

# 平成 30 年度 安全ニュース 第４号（3 月発行）

## ◇安全対策実施計画

| 月 | 重点実施項目 | 遵　守　事　項 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|
| 4 | 安全意識の高揚 | ☆ すべての就業で安全就業ワッペンの着用を徹底すること。<br>☆ 作業別安全就業基準の再確認を行うこと。 | ☆ 春の交通安全県民運動<br>４月６日～４月１５日<br>☆ 安全チョッキ及びヘルメットの<br>完全着用徹底<br>☆ 安全心得の厳守 |
| 5 | 草刈作業による事故防止 | ☆ 周囲の状況・安全確認を行い、防護対策を徹底すること。<br>☆ 危険箇所の周囲は手刈りすること。 | ☆ 作業前の柔軟体操<br>☆ 機械の修理・点検・整備<br>☆ 障害物の周知・除去<br>☆ 接近作業（１５ｍ以内）の禁止 |
| 6 | 共同作業における<br>安全就業 | ☆ 就業前のミーティングを徹底し、各グループ内で安全確認を行うこと。<br>☆ リーダーの指示・安全指導には従うこと。 | ☆ 会員相互の安全注意・教育<br>☆ 作業中看板等の設置厳守<br>☆ 全国安全準備月間 |

## ◇中間市シルバー人材センター事故報告（１１月から２月分）

| 月 | 事　故　内　容 |
|---|---|
| １２月① | 換気扇清掃し元に戻そうとしたら、ねじが壊れ元に戻らなくなった。 |
| １２月② | カイヅカがあることで目隠しになっていた部分を、全て会員が剪定してしまった。 |

**事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな**

**◇全シ協事故報告（１０月から１月分）**

| 月 | 事　故　内　容 |
|---|---|
| １２月① | 平屋建て家屋の屋根塗装作業の依頼を受け２名で作業中、屋根の塗装位置を変えようと屋根の上で立ち上がったところバランスを崩し背部から転落した。救急車により病院に搬送されたが検査の結果「背骨の骨折及び脊髄損傷」を診断された。入院後６ヶ月が経過した現在も入院中である。 |
| １２月② | 道路・公園清掃の就業中に会員本人から体調がすぐれないとセンターに連絡が入り、職員が現場を訪問した。その後すぐ交代会員を手配し、午後より就業を変わることになったが、訪問してから約30分後、駅前広場のトイレ内で倒れているところを市民が発見した。病院に搬入され入院治療していたが後日死亡した(家族の話によると数日前から体調不良であったとのこと)。 |
| １月① | 苺苗の定植作業後、センター事務所からの帰宅途上、橋の袂の町道と県道が交わる信号のない交差点で、県道を自転車で横断中に左から走行してきた軽乗用車にはねられた。病院に搬送されたが死亡した。 |
| １月② | 清掃作業終了後、バイクで帰宅する途中に、後方から来てバイクを追い越そうとしたトラックと接触し転倒、右半身を打撲した。入院後６ヶ月が経過したが現在も入院中である。 |
| １月③ | 朝9時頃、発注者に挨拶をして、会員が担当する清掃場所に向かったが、その数分後に業務範囲外の崖から転落し瀕死の状態で通行人に発見された。<br>警察の話では、原因不明だが崖の途中に蜂の巣があり、それを駆除に行くか、または見ようとして転落し頭を強打したのではないかとのこと。 |
| １月④ | 中学校の松の剪定作業中に転落した。梯子を設置し各所を固定してから下の方の剪定を行ない、さらに高い所の枝の剪定をするため安全帯を取りに降りようとしたところ足を滑らし約2.5m落下し負傷した。入院後６ヶ月が経過したが現在も入院中である。 |
| １月⑤ | 発注者宅の裏山の法面の山草刈りを終え、法面上部の雑木を伐採しようと枝にロープを掛けている際、約10m下の地面に転落した。一緒に就業していた会員が、うつぶせに倒れている本人を発見したが、大量出血で意識が無く、病院に救急搬送したが脳挫傷により死亡した。一緒に就業していた会員は転落状況を見ておらず、詳しい原因は把握できていない。 |

**※中間市シルバー人材センターでは、今年度2月までで事故が10件発生しました。**

**来年度は無事故就業を目指しましょう。**